

## 取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要：東日本大震災以前のJR夜ノ森駅構内は、地域住民によって植栽・管理されてきた「つつじ」約6,000株により、「町の花」として親しまれ地域住民の誇りであり生きがいにもなっていた。震災後、除染や住民が避難したことから管理ができず放置され、愛着や誇りまでも大きく低下していった。昔のように、つつじが溢れる町のシンボルを復活させるために、町内に残るつつじの苗木を「つつじの里親」の手で生育し、再び植樹・管理することで、失われた誇りを取り戻すと共に里親同士のコミュニティ再生を目指す。

## 取組の効果・特徴：

「つつじ生育ワークショップ」、「小中学校との連携によるつつじ再生事業」、「夜ノ森駅 東口花壇「つつじ」の管理育生計画」「つつじ通信やSNS通じた情報発信」を通して、町の花であるつつじの再生とそのためコミュニティづくりによる復興を目指す。

## 取組内容

### 【取組①「事業名：つつじ生育ワークショップ」】

- 1) 里親向けつつじ生育ワークショップ【既存】  
活動頻度／年5～6回(隔月で実施)⇒昨年に比べ開催数を3倍に。  
活動内容／①つつじ剪定&挿し木づくりワークショップ  
②つつじ生育指導ワークショップ&里親交流会  
参加見込／つつじの里親15名/回(のべ100名)
- 2) 新規里親会員に募集に向けたオープンつつじワークショップ【新規】  
実施場所／福島県双葉郡富岡町  
(えびす講市や花火大会など町のイベントでブース出展)
- 4) つつじ園視察バスツアー【新規】  
活動内容／つつじ栽培やワークショップの講師をしている大桑原つつじ園に訪問し、実際のつつじの栽培方法について学習する。

### 【取組②「事業名：つつじ再生に向けた管理・コミュニティ化に向けた情報発信」】

- 3) 夜ノ森駅 東口花壇「つつじ」の管理育生計画【既存】
  - ・植樹の管理育生と仕組みづくり(大桑原つつじ園様のご指導)
  - ・住民、元住民、里親さんによる共同つつじ管理育生
- 5) つつじ栽培マニュアルの作成【新規】  
活動内容／8ページ程度のイラストや写真を用いたつつじ栽培マニュアルを作成し、里親や町民向けにPDFデータで随時提要する。
- 6) 情報発信【既存】  
活動頻度／毎月1回  
活動内容／公式Facebookページ、Instagram里親の会、LINEグループでの情報発信

## 次年度以降の展開

令和7年度は、更なる運営母体の「里親の会」の充実と、2025年3月に植樹したつつじの管理体制と仕組みづくりを、大桑原つつじ園様のご指導で構築する。より多くの里親確保やつつじの採取などを進める必要も生まれてきたため、桜まつりなどイベントへの出展等により地域全体での取組みとなるよう活動に取り組む。事業終了後も町民が主体的につつじの再生とまちづくりに取り組む環境・コミュニティを形成することに加えて、町内企業等とも連携して観光や商品開発などに発展させることで「つつじのある富岡町」のまちづくりに貢献していきたい。